

# 岬地区活性化構想

鐘崎漁港の地域と一体的な事業展開に向けて

岬地区活性化構想検討委員会

平成30年 5月

# もくじ

## 1 構想立案の背景

## 2 私たちを取巻く現状と課題

## 3 検討委員会での協議

## 4 岬地区活性化構想

## 5 資料

### ①岬地区活性化構想検討委員会

### ②視察研修

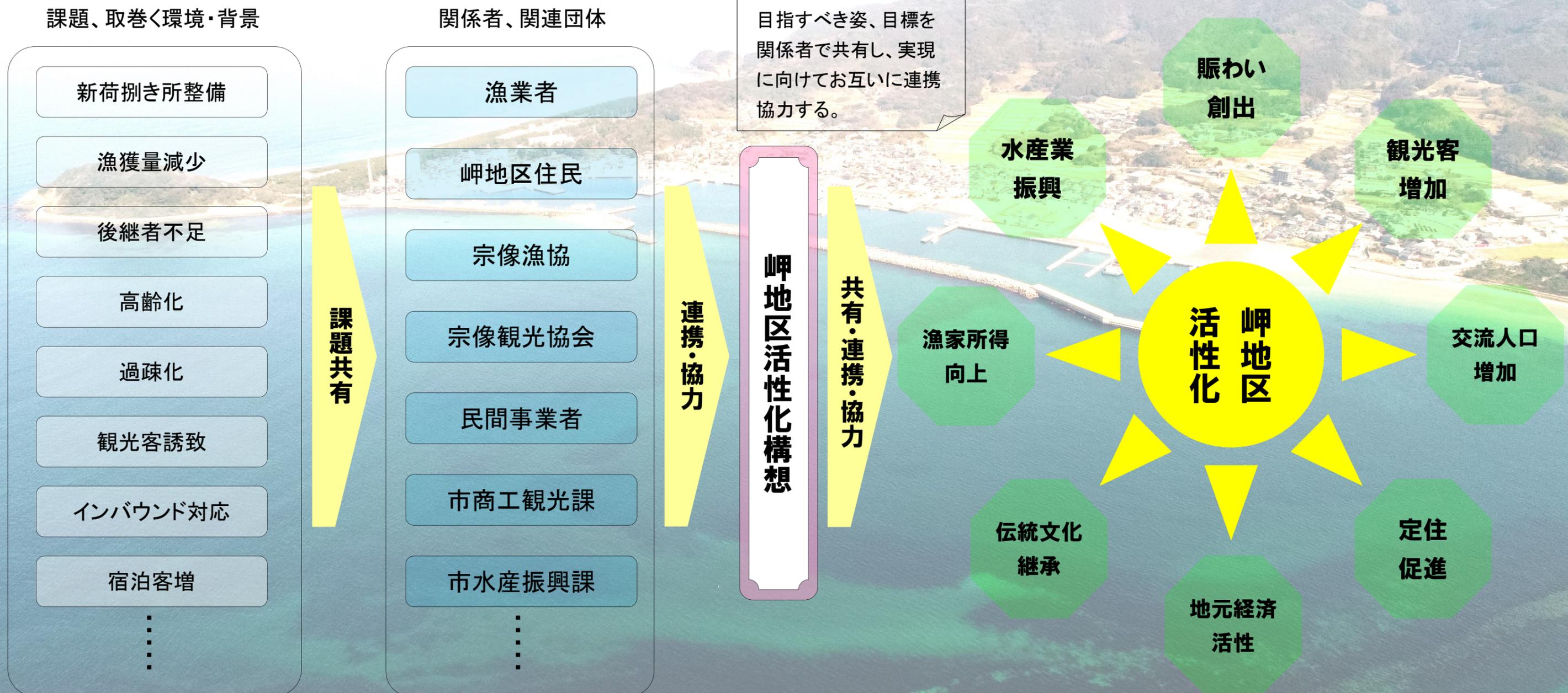
### ③その他

# 1 構想立案の背景

鐘崎漁港の整備は、平成33年度までに新荷捌き所の整備を完了するところまでできている。

これまでの漁港整備は、漁業の効率化、利便性の向上、収益の確保などが主な目的であったが、近年の漁獲量の減少や漁業者の後継者問題、高齢化、過疎化など、地域の課題とも向き合った政策が求められている。

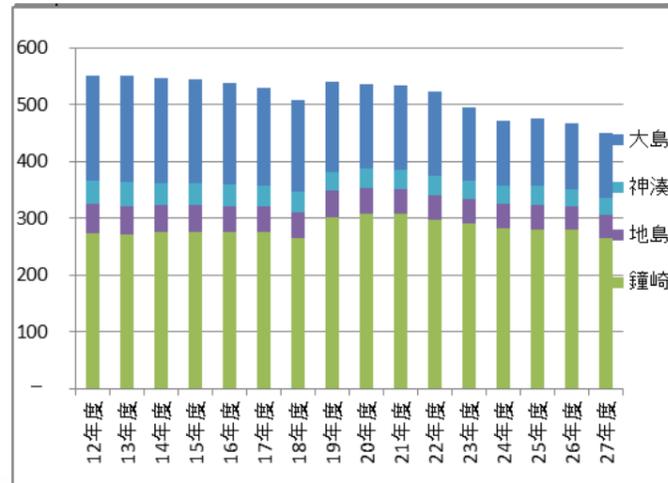
このような状況を踏まえ、岬地区の活性化を図るため方策、地域と一体となった鐘崎漁港のあり方の未来図を、漁業者、岬地区、漁協、観光協会など、各分野の意見を広く求め議論し、構想として取りまとめ、その実現を目指して共有することとした。



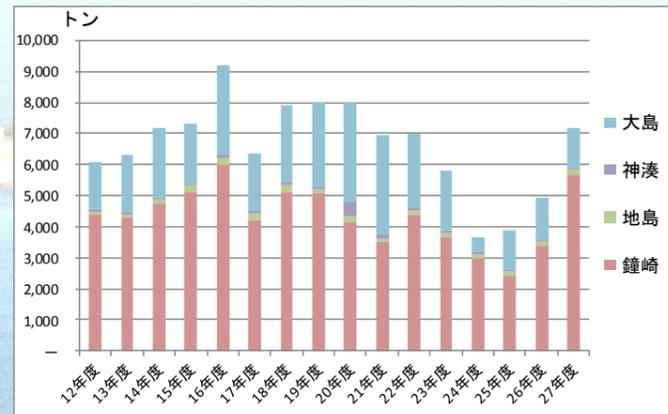
## 2 私たちを取巻く現状と課題

### ① 宗像の漁業、福岡県の水産業、道の駅むなかた の状況

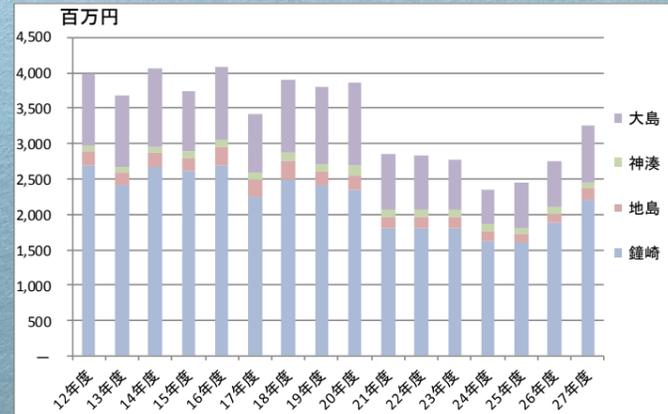
宗像漁協 組合員推移



宗像漁協 漁獲量推移



宗像漁協 漁獲高推移



### 漁業者と水揚げ

宗像の漁業者はグラフが示すとおり減少傾向が続いている。

また、漁獲量、漁獲高共に主力の中型まき網漁の不振が大きく影響し減少している。

このため、ブランド化、高度衛生化、などにより付加価値を付けたり、加工処理など6次産業化に取り組んでいる。



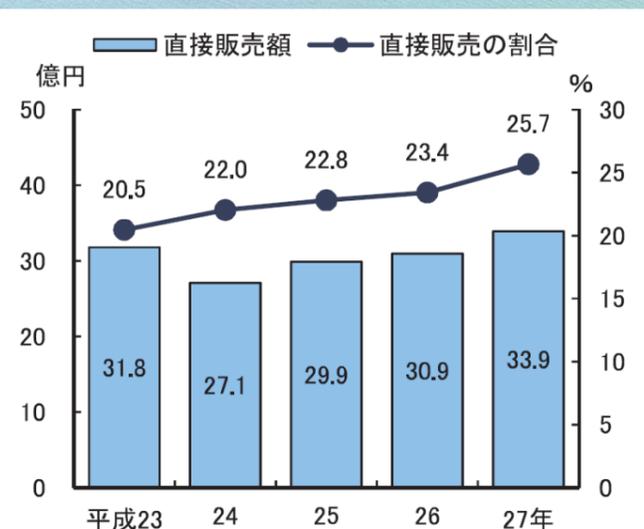
### 福岡県 平成28年度農林水産白書から抜粋

### 福岡県の水産業

県内の水産業についても、漁獲量、漁業者数ともに同じ傾向を示している。

一方で、市場での魚価低迷なども影響し、下のグラフが示すように直販所などによる直接販売が増加傾向にあることがわかる。

漁獲量が減少する中においては、収益を確保する手段として、直接販売の取り組みも強化する必要があると考えられる。

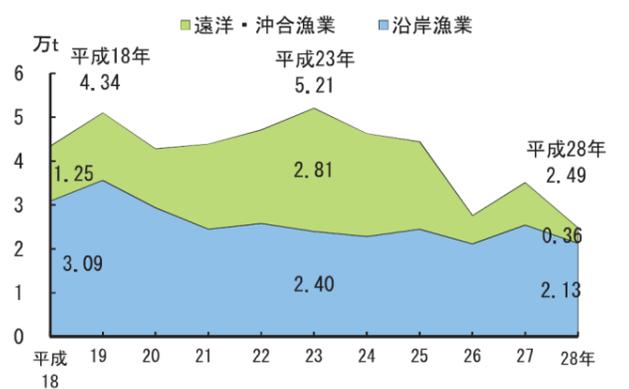


資料：水産振興課調べ

### 1 海面漁業の漁獲量は前年比29%減の24,855 t

- 海面漁業の漁獲量は前年比29%減の24,855 tでした。このうち、沿岸漁業は前年比16%減、平年\*比10%減の21,273 tでした。
- 主な魚種別の生産量は、マアジが前年に比べ4,428 t減の2,809 t、サバ類が前年に比べ2,716 t減の2,069 tでした。

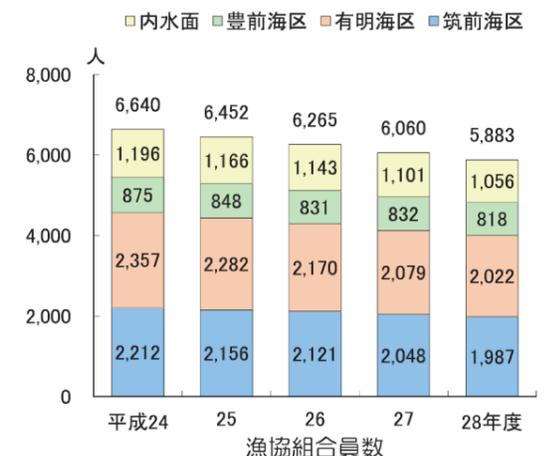
※ 平年：過去5年の平均。



資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」  
注：平成28年値は速報値

### 4 漁業協同組合員数は前年度比3%減少

- 漁業協同組合員数（内水面を含む）は高齢化等により減少しており、前年度比3%減の5,883人でした。
- 海区別の内訳は、筑前海区が1,987人、有明海区が2,022人、豊前海区が818人、内水面が1,056人で、前年度とほぼ同じ構成比でした。



資料：漁業管理課調べ

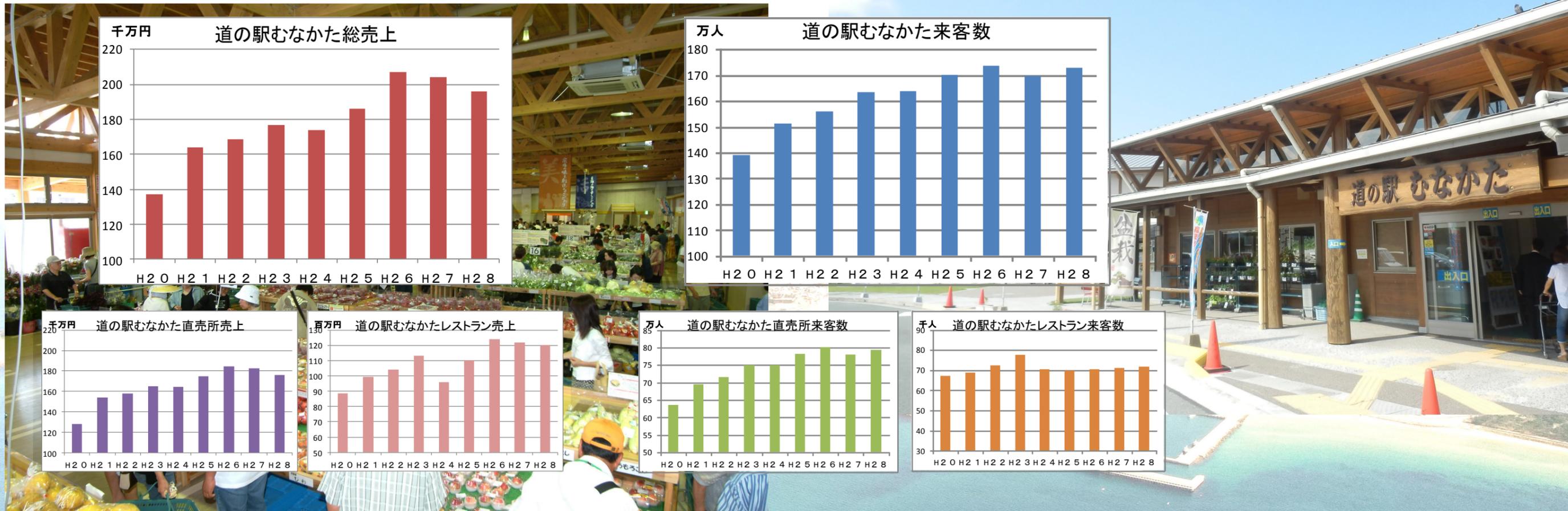
## 2 私たちを取巻く現状と課題

### 道の駅むなかた

平成20年にオープンした道の駅むなかたは、オープン以来、地元の新鮮な野菜と水産物が人気となり、産直店として売上を伸ばしている。

一方で道の駅来訪者を漁港に呼び込むなどの手段が十分に対応しておらず、今後の対策が求められる。

鐘の岬活魚センターだけでは魅力に欠け、現に来訪者の誘致に繋がっていないことから、どのように魅力ある漁港づくりをするかがカギとなる。



### 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録

平成29年7月、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群がユネスコの世界遺産リストに登録されたことで、宗像が国内外から注目を集めることになり、観光客などの来訪者が期待される。

世界遺産登録以降、田島の辺津宮をはじめ大島の中津宮への来訪者も増加しており、鐘崎漁港への立寄り客が期待できることから、集客のための対策が求められる。



# 2 私たちを取巻く現状と課題

## ② 観光を取巻く状況

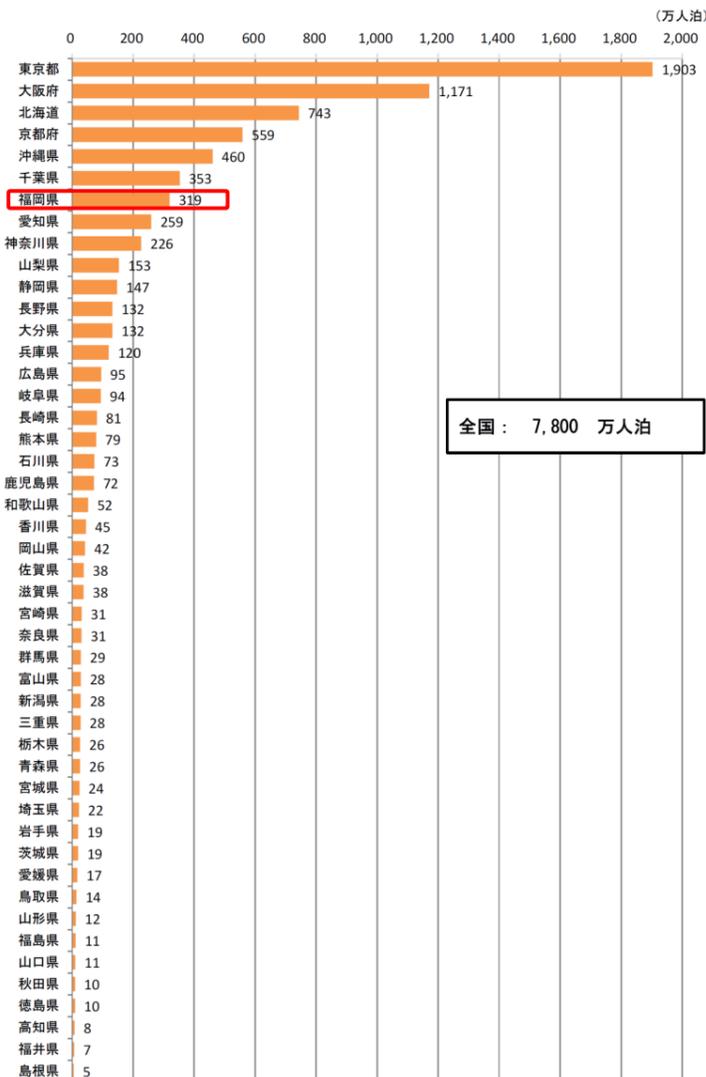
### 観光庁の「宿泊旅行統計調査 平成29年 年間値（速報値）」

観光庁の調査によると、観光の生産波及効果は、平成25年度に全国で約48.8兆円（国内生産額の5.3%）、雇用誘発効果は419万人（全就業者数の6.5%）と推計されており、その効果は極めて大きいといえる。

観光客の多様なニーズに応えた新たなサービスが次々に創出され、地域の経済活動が活性化し、まちに活気生まれる魅力ある観光地域づくりを進め、点から線、線から面へとネットワーク化して内外から観光客を呼び込み、観光の力で、地域を活性化することが今強く求められている。

### 観光庁 宿泊旅行統計調査 平成29年 年間値（速報値）から抜粋

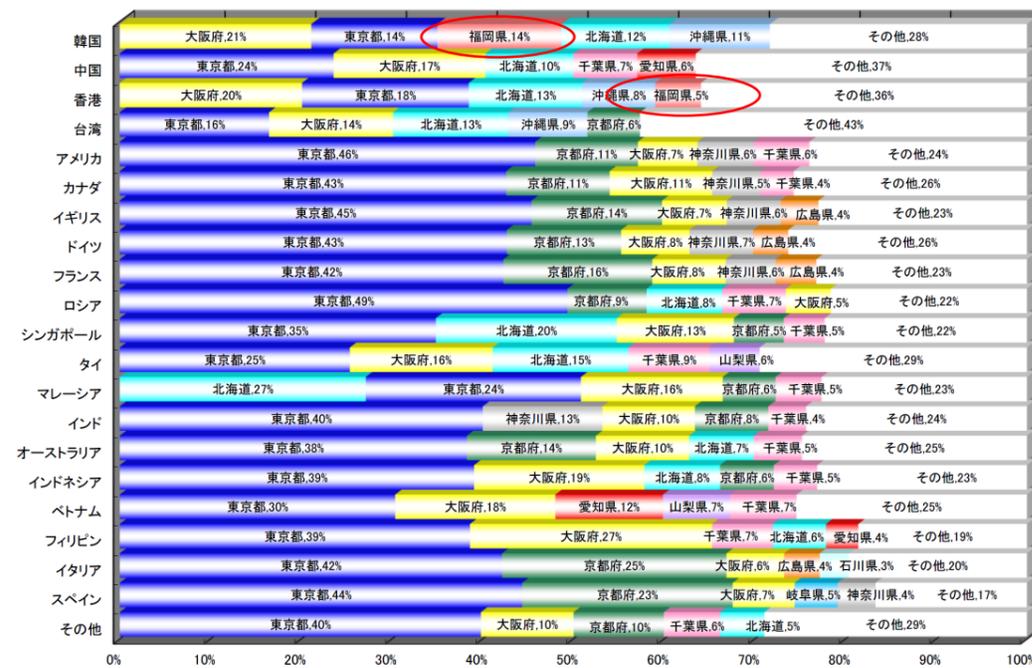
②都道府県別外国人延べ宿泊者数（平成29年1月～12月（速報値））



全国：7,800 万人泊

⑤国籍（出身地）別、都道府県別外国人延べ宿泊者数構成比（上位5都道府県）（平成29年1月～12月（速報値））

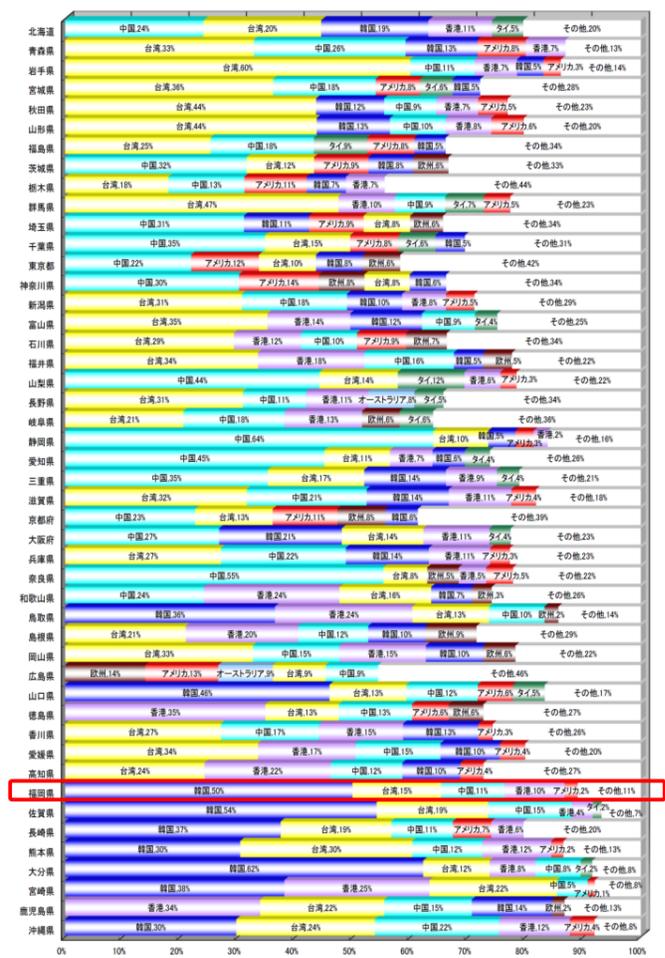
○韓国と香港は、本年は大阪への宿泊がトップとなっている。  
 ○アジアの国々（中国、香港、台湾、シンガポール、タイ、マレーシア等）は、東京・大阪以外では、北海道に宿泊するケースが多くみられる。  
 ○欧米の国々（アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、オーストラリア等）は、東京に次いで京都に宿泊するケースが多くみられる。



※従業者数10人以上の施設に対する調査から作成

⑥都道府県別、国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比（上位5国籍）（平成29年1月～12月（速報値））

○各都道府県のトップの国・地域をみると、台湾が地方部を中心に21県、中国が三大都市圏を中心に14都道府県、韓国が九州地方を中心に9県でトップとなっている。



※ 欧州はドイツ・英国・フランスの3カ国 ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成

### 3 検討委員会での協議

- ① 市は**鐘崎漁港**を**水産業の拠点**と位置づけている。  
歴史ある水産業を**持続可能な産業**として**成長させる**ためには、**水産業の未来**を見通した**漁業**、**漁村の目指す姿**、**新たな展開**などを**地域で共有**する必要がある
- ② **漁獲量の増加が見通せない近年**において、漁獲するだけの水産業では限界がある。  
6次産業化をはじめ、水産業のみならず、**漁村の魅力**を活かした  
ビジネスモデルもまだまだ可能性がある。

どのような方策があると考えているか？

- ③ これらを実現するためには、どのように役割を分担すべきか？

計画を策定する必要性  
の確認



活性化の方向性  
の確認



ブレインストーミング  
による抽出

### 3 検討委員会での協議

ターゲット

ファミリー

何を目的に来てもらう？

- 鐘崎産の魚介類を味わう
- 漁業、農業の体験を楽しむ
- 歴史、文化の体験を楽しむ
- 漁港の風景に癒される

～キーワード～



# 4 岬地区活性化構想

## ① 岬地区活性化構想全体像

### 味わう

- ・鮮度がうりの海鮮バーベキュー
- ・旬の魚介を使った海鮮丼
- ・鐘崎の海の幸、山の幸を盛り込んだ郷土料理
- ・漁師が食べている本当の漁師めし
- ・カフェ

### 買う

- ・鐘の岬活魚センターの旬の活魚
- ・産直販売所での鮮魚、水産加工品
- ・水産物と農産物の鐘崎マルシェ

### 楽しむ、遊ぶ

- ・地元漁師による地引網
- ・海水浴、サーフィン
- ・海上クルーズ体験
- ・砂浜での乗馬体験
- ・果物狩り
- ・沖ノ島の眺望
- ・インスタ映えスポット
- ・民泊体験

### 学ぶ

- ・魚さばき体験
- ・魚料理教室
- ・高度衛生管理型荷捌所の荷揚げ、荷捌き見学
- ・漁業、海女歴史学習
- ・鐘崎歴史観光ガイド
- ・海藻押し葉教室

### ブランド化

- ・ふくのまち宗像「鐘崎天然とらふく、鐘崎天然ふく」
- ・宗像あなごちゃん
- ・釣あじ玄ちゃん
- ・玄海天然印の天然魚

### 6次産業

- ・未利用魚を活用した加工品開発
- ・養殖や蓄養による付加価値化
- ・漁協女性グループによる加工品開発と販売

### 海の鎮守の森

- ・竹漁礁づくり
- ・海岸漂着ゴミの回収、調査

### 伝統、歴史文化

- ・日本海沿岸の海女発祥の地
- ・昔の漁具
- ・織幡神社
- ・沖ノ島



# 4 岬地区活性化構想

## ② 整備イメージ

### Aゾーン

飲食、直販、バーベキュー、体験メニューなど魅力ある施設を誘致、整備し、イベントの開催など鐘崎漁港の集客の核となるエリアとする。

### Bゾーン

活魚を中心に、水産加工品などの製造、販売を強化し、6次産業化の拠点として魚さばき教室や魚料理教室など体験メニューも楽しめるエリアとする。

### Cゾーン

織幡神社の活用、遊歩道、沖ノ島の視点場を整備し、鐘崎の歴史や自然景観などを楽しめるエリアとする。



# 4 岬地区活性化構想

## ③ スケジュール イメージ

短期（1年程度）すぐに着手  
イベントをやってみる！

中期（5年程度）新荷捌き所が完成する  
核となる施設をおく！

長期（10年程度）将来的に進める  
サービス施設をととのえる！

A  
ゾーン

- ・仮設テント、プレハブ、コンテナを設置  
漁協漁師まつりの開催（9月23日）  
週末や海のレジャー客を対象とした飲食の提供  
※移動販売車や海女ちゃんによるテイクアウトメニューの提供の実験事業
- 御製碑周辺の駐車場の整備

B  
ゾーン

- 鐘の岬活魚センター10周年祭、特売イベントの開催
- 漁協女性部の食堂の実施
- 海女ちゃん食堂の実施 ※特売イベントにて
- 魚さばき教室、料理教室の開催
- 釣り大会（女性だけのキス釣り大会）の開催

C  
ゾーン

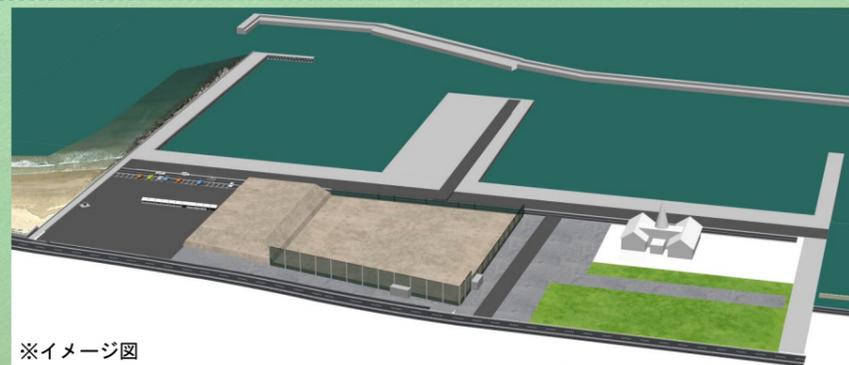
- 鐘の岬活魚センター加工所の増築
- 伝統・歴史文化の調査研究（海女ちゃん）
- トイレの整備

- ・新荷捌き所と一体となった施設を設置  
荷捌き所での荷揚げ・荷捌き見学  
複合商業施設の整備  
※レストラン、海鮮バーベキュー、お土産品、魚さばき体験、料理教室など
- コミセンを活用した漁業・海女歴史学習
- 施設を活用したイベントの開催
- 海上クルーズの実施

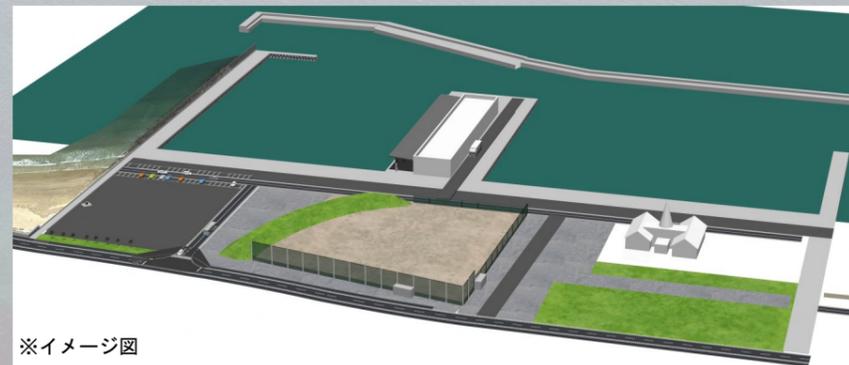
- 鐘の岬活魚センター特売イベントの開催
- 魚さばき教室、料理教室の開催

- 鐘崎歴史観光ガイドの実施（海女ちゃん）
- 沖ノ島の視点場
- 遊歩道の整備

- ・民泊など宿泊滞在施設を設置  
宿泊者限定の漁業体験メニューの提供  
宿泊者限定の料理の提供
- ・鐘の岬織幡通りの整備  
並木の整備、魚オブジェなど  
アクセス道路の改良検討



※イメージ図



※イメージ図



※イメージ図

## 5 資料

### ①-1 岬地区活性化構想検討委員会 構成員

鐘崎地区活性化構想検討委員会 構成員名簿				(別紙)
	所 属	名 前	備 考	
1	宗像漁協 鐘崎地区 漁業者	権 田 正 良	青壮年部長	
2	宗像漁協 鐘崎地区 漁業者	入 江 雅 彦	青壮年部長補佐	
3	岬地区コミュニティ運営協議会	桑 野 通 孝	会長	
4	岬地区コミュニティ運営協議会	原 口 貢	事務局長	
5	岬地区自治会	広 橋 折 好	会長	
6	岬地区自治会	白 石 光 夫	副会長	
7	宗像漁業協同組合 職員	石 橋 欣 也	業務課長	
8	宗像観光協会	稲 田 亨	事務局長	
9	宗像市産業振興部 商工観光課	青 木 隆 一		
10	宗像市産業振興部 商工観光課	村 山 信 也		
11	宗像市産業振興部 水産振興課	吉 武 修	事務局	
12	宗像市産業振興部 水産振興課	川 嶋 幸 史	事務局	
13	宗像市産業振興部 水産振興課	宮 野 辰 治	事務局	
14	株式会社 柿澤総合事務所	柿 澤 一 氏	コンサルタント	
15	株式会社 はまげん	石 谷 誠	コンサルタント	

# 5 資料

## ①-2 岬地区活性化構想検討委員会 会議等

### ○第1回鐘崎地区活性化構想検討委員会

日時：平成30年1月12日（金）16：00～17：30

場所：岬地区コミュニティセンター2階 会議室1

#### 開会あいさつ

漁港整備と一体となった鐘崎地区の活性化について構想としてまとめる。

#### 委員の紹介

#### コンサルタントによる説明・提案

検討委員会の役割の確認と委員会で何を話し合うかの確認。

他地域の取り組みの事例説明と提案

説明と提案を受けての委員からの意見提案

#### コンサルタントによる意見の集約と方向性の確認

#### 今後の委員会のスケジュールの確認

委員から委員会の名称の変更の提案。「鐘崎地区」⇒「岬地区」に。

今後は、岬地区活性化構想とする。

### ○第2回岬地区活性化構想検討委員会

日時：平成30年3月8日（木）15：00～16：30

場所：岬地区コミュニティセンター2階 会議室1

#### 開会あいさつ

第1回委員会の意見の確認と先進地視察の報告

#### 構想案の具体的討議

3つのグループに分かれテーマごとにグループディスカッションと発表

#### コンサルタントからの提案

#### 構想案のまとめについて

### ○第3回岬地区活性化構想検討委員会

日時：平成30年5月31日（木）15：00～

場所：岬地区コミュニティセンター2階 会議室1

### ○先進地視察研修

日時：平成30年2月7日（水）～8日（木）

視察先：愛媛県八幡浜市八幡浜港、福岡県豊前市うみてらす豊前

視察概要は、別紙掲載

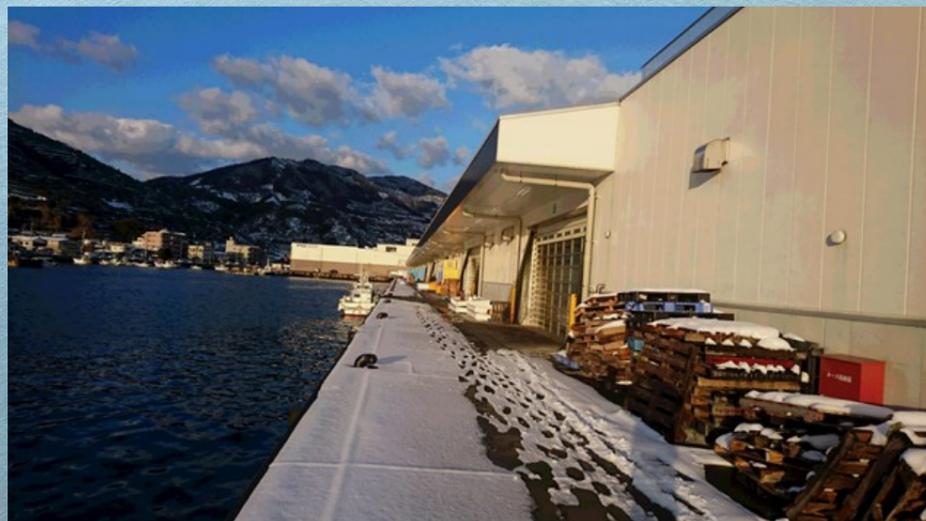
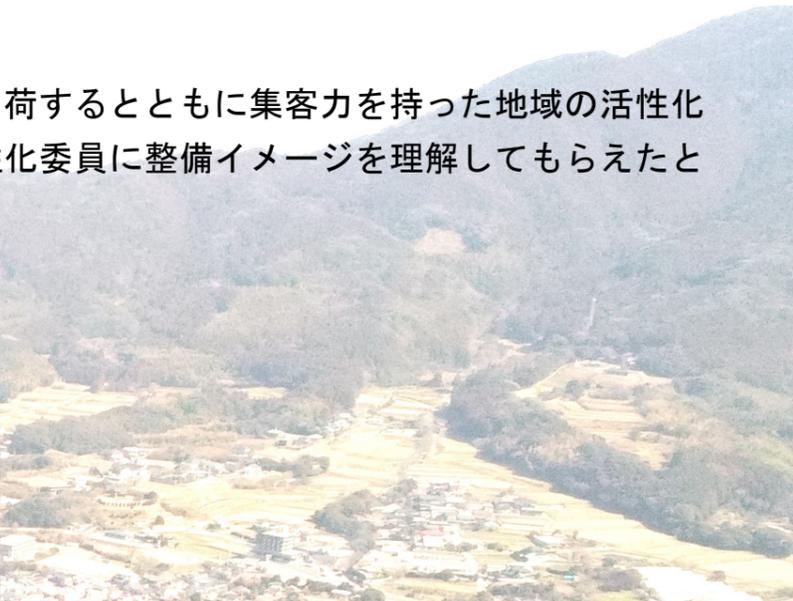
## 5 資料

### ②-1 視察研修（愛媛県八幡浜市 八幡浜港）平成30年2月7日（水）～8日（木）

岬地区活性化構想検討委員会及び鐘崎漁港高度衛生管理検討協議会において、愛媛県八幡浜市の八幡浜漁港他で、先進地視察を行ないました。

視察行程は当初、大分県佐賀関漁港→愛媛県松山市公設水産地方卸売市場→八幡浜市八幡浜漁港→豊前市うみてらすを計画していましたが、当日、降雪による道路通行止め箇所が多発したため、佐賀関漁港と松山市市場の視察を中止しました。

八幡浜漁港については、平成25年に市場を高度衛生施設に改修し、隣接地に直売所を整備してあり、漁獲物を衛生的に出荷するとともに集客力を持った地域の活性化施設となっています。今後、整備を進める鐘崎漁港の新荷さばき所及び周辺施設のイメージに類似しており、漁業者や活性化委員に整備イメージを理解してもらえたいと思います。



# 5 資料

## ②-2 視察研修（豊前市 うみてらす）平成30年2月7日（水）～8日（木）

豊前市うみてらすについては、平成28年6月にオープンし、漁協直営の直販所とレストランが経営されており、冬季は牡蠣小屋を出店も行っており、積極的に地元産の魚介類の販売を行っています。今後の岬地区においても、牡蠣小屋や直販所は活性化構想案に挙げていきたい内容と考えられます。

今回の視察は宿泊を伴いましたので、夜は懇親会を設け、各委員と活性化や高度衛生化について、多くの意見交換が行われ、まき網船団の荷揚げや荷さばき見学などの現地体験型による賑わいづくりを目指す方向についても漁業者、活性化委員から前向きな意見が出ていますので、より良い活性化構想がまとめられるように検討委員会を進めていきます。



